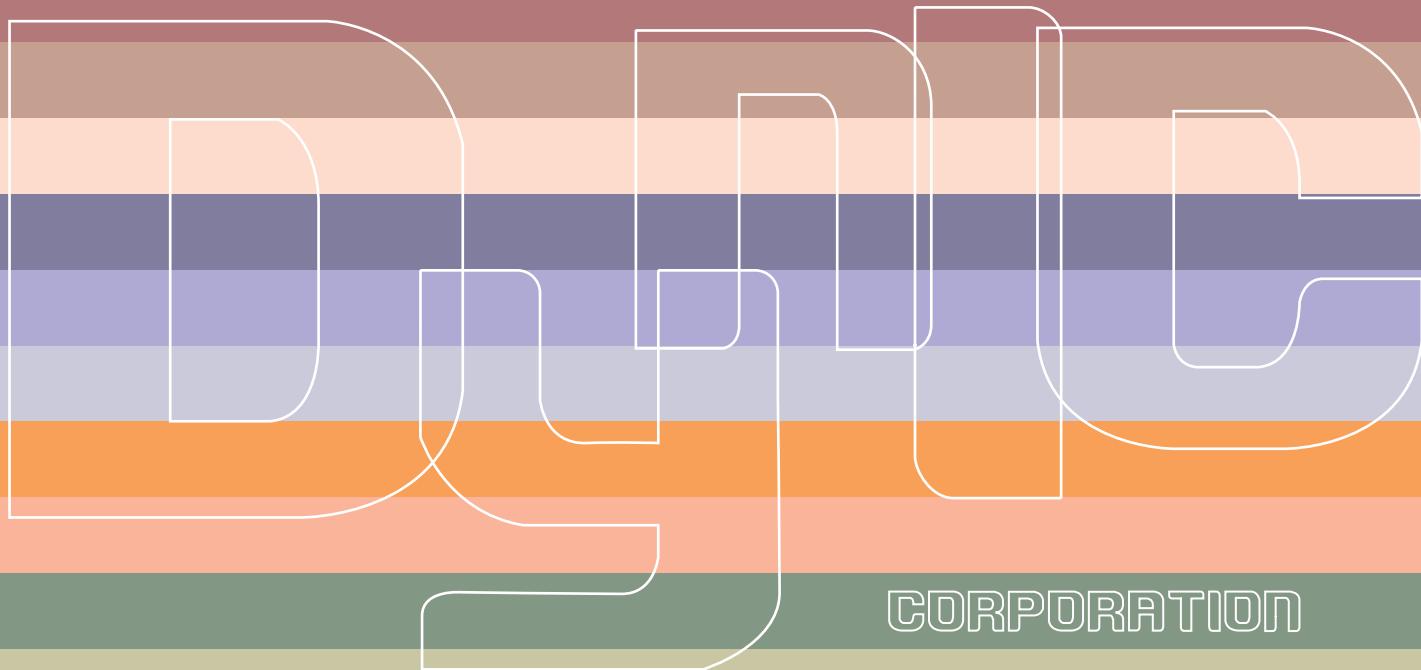




(証券コード 3551)

# 第156期中間報告書

平成30年4月1日～平成30年9月30日



CORPORATION



株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループ第156期中間期（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

第156期前半期の売上高につきましては、包材関連事業の食品包材・蓋材、食品鮮度保持剤がともに海外販売が堅調で前年を上回り、全体でも前年同四半期比微増となりました。利益面につきましては、原材料費、燃料費上昇の影響もあり各セグメントにおいて前年を下回り、連結ベースで別記のような結果となりました。

後半期の当社グループを取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が予想されますが、原料高・燃料高を克服し、製品開発においてはお客様への迅速な対応と他社との差別化を図ることによって、経営体質の強化に努めてまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月

代表取締役社長

大石 義夫

会社概要 (平成30年9月30日現在)

商号 ダイニック株式会社  
 DYNIC CORPORATION  
 〒615-0812  
 京都市右京区西京極大門町26  
 TEL 075-313-2111  
 FAX 075-313-2116  
 東京本社 〒105-0004  
 東京都港区新橋6-17-19(新御成門ビル)  
 TEL 03-5402-1811  
 FAX 03-5402-3146  
 ホームページ  
<http://www.dynic.co.jp>

創立 1919年8月18日  
 資本金 57億9,565万円  
 発行済株式数 8,504千株  
 社員数 グループ合計1,391名  
 営業所/事務所 (グループ含む) 札幌、東京、名古屋、京都、大阪、福岡、香港、シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア  
 工場 (グループ含む) 滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア  
 関連会社 国内6社、海外10社  
 主要商品

- 文具紙工品用クロス ● 壁装材
- 出版用クロス ● カーペット
- プリンターリボン ● 自動車内装用資材
- 銀行通帳用クロス ● 各種フィルター
- フィルムコティング盤 ● 不織布
- 磁気関連製品 ● 産業用ターポリン
- 表示ラベル用素材 ● 接着芯地
- 名刺プリンタ ● 各種ファンシー商品
- 簡便し尿水除きシート ● 食品包材
- パッケージフィルム加工 ● 紙管紙器

役員 (平成30年9月30日現在)

取締役会長	細田敏夫
代表取締役社長	大石義秀
常務取締役	河野秀仁
常務取締役	市川博
取締役	木村博
取締役	北村圭一
取締役	小澤雅浩
取締役	遠藤明
取締役	佐々木範英
取締役	山田伸次
常勤監査役	辻福岡正浩
常勤監査役	竹内祥三
監査役	大角将英
監査役	大角英

(注) 取締役辻正次氏は社外取締役、また監査役大場将弘、角倉英司の両氏は社外監査役であります。

## 経営の実績 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益、雇用環境の改善が進み緩やかな回復基調で推移しました。一方で、貿易摩擦や豪雨・震災等の自然災害増大による影響が懸念されます。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き収益改善への取り組みを継続してまいりましたが、原油価格の上昇に伴う原材料・燃料費の高騰を吸収しきれず、利益面では苦戦いたしました。

その結果、売上高は19,967百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益437百万円（前年同四半期比23.3%減）、経常利益484百万円（前年同四半期比29.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は373百万円（前年同四半期比35.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

### ■印刷情報関連事業

印刷被写体においては、出版・文具用途では紙クロス・布クロスは大型企画も無く、受注が低調で前年同四半期比減となりました。一方、文具用途のレザー製品は輸出が好調で前年同四半期比増となりました。また、産業用の品質表示ラベルは国内・海外販売ともに堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

印字媒体においては、主力のラベル等の印字用熱転写リボンには主に海外販売が堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は8,481百万円（前年同四半期比0.4%減）、営業利益は496百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

### ■住生活環境関連事業

不織布は、床吸音材と車輛用フィルターが堅調に推移し、車輛天井材・内装材も比較的好調であり、前年同四半期比増となりました。

壁装材は、市況が回復せず前年同四半期比減となりました。

産業用ターポリンは、主力のコンテナは堅調に推移しましたが、テント材、合羽等が低調で前年同四半期比減となりました。

その結果、当セグメントの売上高は6,753百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益は160百万円（前年同四半期比41.6%減）となりました。

### ■包材関連事業

食品包材・蓋材は、海外向けが堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

食品鮮度保持剤は、中国向け受注が堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

医療用パップ剤用フィルム加工は、第2四半期で受注が減少し、前年同四半期比減となりました。

その結果、当セグメントの売上高は3,368百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益は197百万円（前年同四半期比4.4%減）となりました。

### ■その他

商品運送は、堅調に推移し、前年同四半期比増となりました。

ファンシー商品は、手帳・ダイアリーが低調で前年同四半期比減となりました。

その結果、売上高は1,944百万円（前年同四半期比3.3%減）、営業利益は58百万円（前年同四半期比24.7%減）となりました。

## 通期の見通し

下半期の経営環境は依然として不透明な状況が予想されますが、当社グループにおいては、通期でのグループ業績見通しは大きく変動しないものと考えており、以下のとおり見込んでおります。

			連 結 (対前年比)	
			百万円	%
売	上	高	41,000	( 2.4)
営	業	利 益	1,250	( 26.5)
経	常	利 益	1,350	( 19.3)
親会社株主に帰属する当期純利益			900	( 2.6)

# 財務諸表の概要 (連結)

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

### ■資産の部

科 目	前 期 平成30年3月31日現在	当第2四半期 平成30年9月30日現在
<b>流動資産</b>	<b>22,479</b>	<b>22,531</b>
現金及び預金	3,988	3,623
受取手形及び売掛金	8,267	8,365
電子記録債権	2,828	2,979
たな卸資産	7,024	7,069
その他の流動資産	456	576
貸倒引当金	△84	△81
<b>固定資産</b>	<b>32,357</b>	<b>33,032</b>
有形固定資産	20,085	20,092
建物及び構築物	5,412	5,339
機械装置及び運搬具	3,455	3,406
土地	10,251	10,210
その他の有形固定資産	967	1,137
無形固定資産	69	72
投資その他の資産	12,203	12,868
投資有価証券	8,753	9,206
繰延税金資産	153	196
その他の投資	3,338	3,506
貸倒引当金	△41	△40
<b>資産合計</b>	<b>54,836</b>	<b>55,563</b>

### ■負債の部

科 目	前 期 平成30年3月31日現在	当第2四半期 平成30年9月30日現在
<b>流動負債</b>	<b>22,714</b>	<b>23,255</b>
支払手形及び買掛金	8,565	8,813
短期借入金	11,777	12,199
未払法人税等	353	188
設備関係支払手形	480	651
その他の流動負債	1,539	1,404
<b>固定負債</b>	<b>11,798</b>	<b>11,417</b>
長期借入金	6,334	5,942
退職給付に係る負債	1,692	1,579
再評価に係る繰延税金負債	1,299	1,299
その他の固定負債	2,473	2,597
<b>負債合計</b>	<b>34,512</b>	<b>34,672</b>

### ■純資産の部

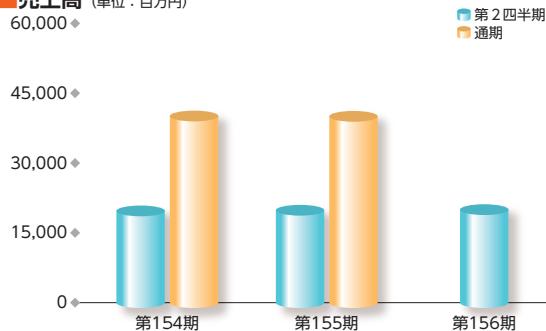
科 目	前 期 平成30年3月31日現在	当第2四半期 平成30年9月30日現在
<b>株主資本</b>	<b>14,365</b>	<b>14,526</b>
資本金	5,796	5,796
資本剰余金	945	945
利益剰余金	7,657	7,818
自己株式	△33	△33
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>5,823</b>	<b>6,069</b>
その他有価証券評価差額金	3,256	3,572
土地再評価差額金	2,799	2,799
為替換算調整勘定	△122	△205
退職給付に係る調整累計額	△110	△97
<b>非支配株主持分</b>	<b>136</b>	<b>296</b>
<b>純資産合計</b>	<b>20,324</b>	<b>20,891</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>54,836</b>	<b>55,563</b>

## ■ 四半期連結損益計算書

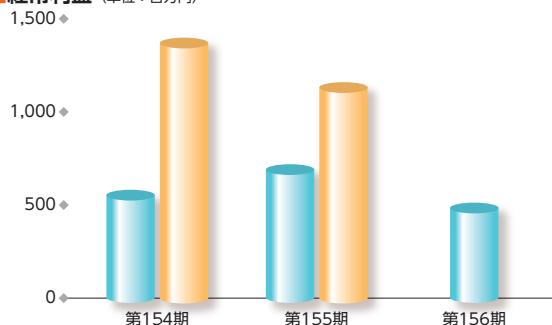
(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日	当第2四半期 平成30年4月1日～ 平成30年9月30日
売上高	19,841	19,967
売上原価	16,024	16,311
売上総利益	3,817	3,656
販売費及び一般管理費	3,247	3,219
営業利益	570	437
営業外収益	295	289
営業外費用	175	242
経常利益	690	484
特別利益	132	23
特別損失	16	19
税金等調整前四半期純利益	806	488
法人税等	248	168
四半期純利益	558	320
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△22	△53
親会社株主に帰属する四半期純利益	580	373

## ■ 売上高 (単位：百万円)



## ■ 経常利益 (単位：百万円)

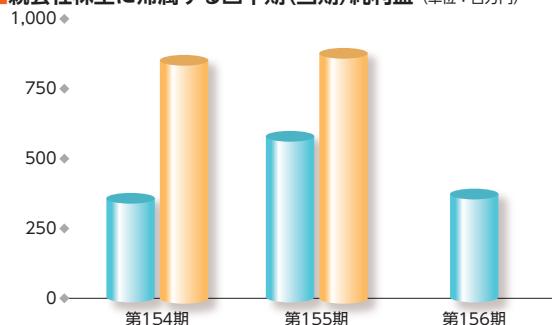


## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日	当第2四半期 平成30年4月1日～ 平成30年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,299	283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245	△384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△294	△40
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△29
現金及び現金同等物の増減額	746	△170
現金及び現金同等物の期首残高	2,838	3,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,584	3,196

## ■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



## ●takeo paper show 2018に パッケージ用クロスを展示

平成30年6月1日（金）から3日（日）まで、南青山スパイラルホールで、代理店である（株）竹尾の展示会「takeo paper show 2018」が開催されました。

扱われている約300銘柄の中から、当社製の新しいパッケージクロス「モイスライク」「メタドゥール」「スプリングル」が展示されました。



包装された各商品を積み上げた、物流倉庫をイメージした展示



モイスライク、メタドゥール、スプリングルを使用したパッケージ見本

## ●アジア不織布産業総合展示会 ANEX 2018に出展

平成30年6月6日（水）から8日（金）まで、東京ビッグサイトにて「ANEX2018（アジア不織布産業総合展示会）」が開催されました。

当社は「環境・省エネ」「健康・介護」「複合技術」のテーマのもと、居住空間、オフィス空間、自動車関連の3つのエリアにわけて展示し、来場者数は約900名でした。



当社ブース

## ●滋賀工場の壁紙製造ラインの改造

当社滋賀工場の壁紙製造ラインにおいて、生産能力の増強および設備機能の拡張を目的として大幅なライン改造を実施しました。

この改造により更なるシェアの拡大を目指してまいります。



改造された壁紙製造ライン

## ●ゴミゼロ清掃活動

滋賀工場の地元多賀町では、滋賀県が環境美化の日と定める5月30日（ゴミゼロ）の前後に毎年清掃活動を行なっています。当社もこの活動に協力し、隣接する国道306号線沿いの環境美化運動を実施しました。

また、埼玉工場では、地域の環境美化活動として、隣接している県道14号線および工場周辺の清掃活動を毎月行なっています。



清掃活動（滋賀工場）



清掃活動（埼玉工場）

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
基準日	3月31日	
定時株主総会	3月31日	
剰余金の配当	3月31日（中間配当を行なう場合は9月30日）	
定時株主総会	6月下旬	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店 舗）でもお取扱いたします。
		みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱でき ませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行(※) およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行なっていただく必要があります。
上場証券取引所	東京	
証券コード	3551	
公告方法	当社のホームページ ( <a href="http://www.dynic.co.jp">http://www.dynic.co.jp</a> ) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	



〒105-0004  
東京都港区新橋 6-17-19 (新御成門ビル)  
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。